

テクニカルショウヨコハマ2023出展レポート

日本顧問パッケージ協会は、2023年2月1～3日に横浜市のパシフィコ横浜で開催された、第44回工業技術見本市「テクニカルショウヨコハマ2023」に出展しました。その過程と様子を準備段階からレポートします。今後、展示会や見本市への出展を検討されている企業様のご参考にでもしていただければ幸いです。

準備段階

開催日直前の2日間で設営を行いました。2日前に会場を訪問した際は、まだ設置されていない出展者ブースも多く、作業の方々が続々と組み立てをおこなっていました。当協会ブースもまだ未完成であり、この時点では備品も揃っておりませんでした。初めての出展の私たちにとってどのような出来栄になるのか期待と不安を抱きつつも、配布資料等の準備を進めました。



出展当日

準備段階では閑散としていた会場も、会期中は多くの方が訪れ熱気に包まれました。開催後の主催者発表によると、759社が出展し、15,827名の来場者数だったとのこと。工業技術・製品に関する総合見本市としてはまさに首都圏最大級の役割を果たしていると感じました。

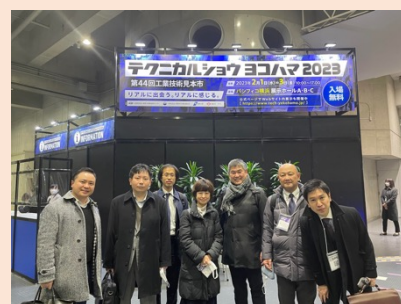
会場の様子を撮影しYouTubeで配信しましたが、配信から1時間の間に数千ものアクセスがあり、来場していない方々の関心の高さも垣間見えました。



当協会のブースは理事とサポートメンバーが交替で在室し、本イベントに合わせて作成したクリアファイルに入れて資料を配布したほか、ミニ個別相談やミニセミナーを実施しました。これまでなかなかお会いできない方とのリアルな交流で、新たにご興味を頂いた経営幹部の方も多数でした。幾つかの企業様には後日訪問いたしました。

出展を終えて

3日間の出展中は多くの企業様からお声がけをいただき、顧問パッケージサービスへの関心の高さを実感することができました。今回は、技術系の企業様が主体でしたが、どのような業種であっても必要なサービスであることを再認識するきっかけになりました。今後も多くの企業様に顧問パッケージサービスを知っていただく活動を幅広く行ってまいります。



弁護士鍋さんの経営お役立ち情報

第3回



システム開発契約のトラブル防止

システム開発契約において、ものづくり補助金などの助成制度もあって、システム開発契約の契約相談、トラブル相談が増えています。

よくある相談としては、

- ユーザーが代金を払ってくれない
 - ユーザーから要件外の追加作業を依頼された
 - ユーザーの協力が無いのに、納期遅延を言われる
 - 欠陥ではないのに補修を求められた
- などがあります。

システム開発契約の特徴としては、

- ベンダー側に専門的な知識や技術があり偏りがある
 - ユーザーが完成状態をイメージできていない場合がある
 - 請負型でも、建築と異なり、バグなどが生じうる場合がある
- などの背景があります。

こうしたシステム開発契約の特徴・背景を踏まえつつ、トラブルを未然に防止するためには、ベンダーにおいても、

- ① ユーザーとのコミュニケーションを適切に行うこと
- ② ユーザーが誤解しないよう情報提供を適宜行うこと
- ③ 仕様・納期など取引の重要事項を明らかにしておくこと
- ④ 合意した内容を、適切に、契約書等に記録しておくこと

等を意識して対応することが重要です。

せっかく労力等を割いて納品したのに、代金が払われないということがないようにしてほしいと思います。

(田鍋)

顧問パッケージサービスの

YouTubeチャンネル開設

顧問パッケージサービスとして公式チャンネルを開設しました。現在はテクニカルショウヨコハマの動画を中心に掲載していますが、今後はセミナー動画のダイジェスト・切り取り版や、経営お役立ち情報など続々アップする予定です。ぜひチャンネル登録していただき、情報収集の一環としてお役立てください。



Information

公式活用ガイドをデジタルブックでご提供

顧問パッケージサービスの利用法をまとめた活用ガイドを作成しました。具体的な利用シーンや、情報コンテンツの閲覧方法など、数ページにわたってご案内しています。限定配布となっておりますので、ご希望の方は当協会までお気軽にご用命ください。

公式Twitterこちら

協会公式ロゴ

LINE公式アカウント



制作：一般社団法人日本顧問パッケージ協会

HP : <http://commonpack.opal.ne.jp> (右のQRコード)

e-mail : info@jcpo.org (1月より変更しました)

※ホームページでサービス詳細がご覧いただけます。

